

呉に生きている子どもたちに

九つの嶺と 無数の星
軍都と呼ばれた この呉の町
あの日のことは わすれはしない
火の町うつした 赤い月を
立ちすくむ弟の 汗ばんだ手を

ホタル飛び交う 遠い山里
学童疎開の 夜の静けさ
あの日のことは わすれはしない
戦争はいつ終わるのかしらと
手を合わせて 祈る 呉の空を

空の青さと 緑がつつむ
海を見下ろす 挺身隊の墓
あの日のことは わすれはしない
爆弾くぐり 友と逃げまどった
あの火の丘を 泣き叫ぶ声を

海の青さと 打ち寄せる波
遊歩道 アレイからすこじま
あの日のことは わすれはしない
片道だけの 燃料をつんで
若い命が 旅だった日の海を

山肌に残る 砲台のあと
焼けた煉瓦 屋根のない建物
気づく人もなく 訪ねる人もない
わすれられない あの日の呉を
語りついで あの日の呉を
伝えていこう わたしたちの願い

戦争を知らない 若いあなたたちへ

—戦争を体験したおじいちゃん おばあちゃんたちから学ぶこと—

今朝丸千里 著

